

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算 支出科目 款：労働費 項：職業訓練費 目：職業訓練校費

事業名 教官研修費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)
商工労働部労働雇用課職業能力開発係 電話番号：058-272-1111(内3667)
E-mail：c11367@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 358 千円 (前年度予算額： 136 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	136	78	0	0	0	0	0	0	58
要求額	358	190	0	0	0	0	0	0	168
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)
国際たくみアカデミー職業能力開発短期大学校の職業訓練指導員が訓練を実施する上で必要な資格の取得と訓練指導の資質向上のために研修の受講が必要である。

(2) 事業内容
・ 訓練実施に必要な資格を取得及び保持に必要な研修
・ 新技術・機器等の操作技能・知識を習得するための研修

(3) 県負担・補助率の考え方

職業能力開発校設備整備費等補助金充当（厚生労働省）
補助対象経費の3／4補助

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	163	旅費
需用費	3	消耗品費
負担金	192	研修負担金
合計	358	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 後年度の財政負担

後年度も同様に実施

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

職業訓練実施に当たり、職業訓練指導員が必要となる資格の習得と訓練指導の資質向上を図るため、継続的に研修を受講する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

職業訓練の実施に必要な資格の取得及び資質向上を目的とするものであり、数値的な目標を設けることは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	研修受講数 4 コース 新型コロナウイルス感染症による参加中止があったため、例年より少ない実績となったが、訓練内容の充実に寄与した。
令和5年度	研修受講数 3 コース
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和6年度	研修受講数 8 コース
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	職業訓練実施に当たり、職業訓練指導員が必要となる資格の取得と訓練指導の資質向上を図ることにより、より充実した職業訓練を実施することができる。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	職業訓練に必要な資格の取得は、訓練を実施する現場において必要なものであり有効である。指導員の資質向上を図ることにより、新しい技術・技能に対応した職業訓練を実施することができる。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	訓練の現場で必要となる資格や訓練を実施するために必要なスキルなど限られた時間と予算の中で、真に必要なものについて受講している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 職業訓練指導員として経験を重ねていく中で必要となるスキルの習得のための研修受講について検討していく必要がある。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 研修受講した職業訓練指導員の受講内容を、他の職業訓練指導員と共有するなど、受講内容をたくみアカデミー全体で有効活用することを検討していく。

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	